

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	上下水道部
	17013	下水道管渠長寿命化対策事業(みどり町、みずほ台地区)	課名	下水道課 下水道工務G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	会計	14:公共下水道事業会計
	基本施策	03:上下水道の充実	款	資1:資本的支出
	施策の方向	02:生活排水対策の推進	項	01:建設改良費
戦略プロジェクト	-	目	01:管渠整備費	
事業予定期間	H 29 ~ R 17 年度 主な根拠法令要綱等 下水道法、都市計画法			

② 目的・概要	対象	下水道処理区域内の市民
	目的	公共下水道区域拡大による多額の投資的経費や施設の維持管理費等の増加が見込まれることから、ライフサイクルコストの低減及び更新時期の平準化により施設の延命化を図り、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、適切な維持管理に努める。
概要	下水道管設置後、特に年数が経過しているみどり町及びみずほ台の一部について、平成28年度に策定した「下水道管渠長寿命化計画」に基づき、施設の改築工事を実施する。また、次期長寿命化計画「ストックマネジメント計画」を策定し、適切な維持管理を推進する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○管更生工事 一式 ○布設替工事 一式 ○管渠設計委託 一式 ○管内カメラ調査 一式 	<ul style="list-style-type: none"> ○ストックマネジメント計画策定 ○管更生工事 一式 	<ul style="list-style-type: none"> ○管更生工事 一式 ○布設替工事 一式 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○管更生工事 L=397m ○布設替工事 L=50m ○管内カメラ調査 L=4,286m 	<ul style="list-style-type: none"> ○ストックマネジメント計画策定 ○管更生工事 L=40m 	<ul style="list-style-type: none"> ○管更生工事 L=550m ○布設替工事 N=6箇所 	
事業額	計画額	事業費	60,000千円	49,000千円	60,000千円
		国庫支出金	28,500千円	24,500千円	24,000千円
		県支出金			
		地方債	28,350千円	22,050千円	32,400千円
		その他			
	一般財源	3,150千円	2,450千円	3,600千円	
	予算額	事業費	115,740千円	69,189千円	60,000千円
		国庫支出金	45,350千円	34,107千円	24,000千円
		県支出金			
		地方債	52,900千円	22,500千円	32,400千円
		その他	17,490千円	12,582千円	3,600千円
	一般財源	0千円	0千円		
	決算額	事業費 ①	113,259千円	68,840千円	59,456千円
		国庫支出金	45,350千円	34,107千円	24,000千円
		県支出金			
地方債		52,900千円	22,500千円	32,400千円	
その他		15,009千円	12,233千円	3,056千円	
一般財源	0千円	0千円	0千円		
人件費	総人件費 ②	7,849千円	7,839千円	7,903千円	
	一般職員	7,849千円	7,839千円	7,903千円	
	所要人員	1.00	1.00	1.00	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(①+②)		121,108千円	76,679千円	67,359千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称 整備率	計画値	47	58
		各年度末の整備率 (各年度整備済延長/R7までの整備延長)	実績値	47	60
			単位	%	%
			成果		
②	名称	計画値			
		実績値			
		単位			
③	名称	計画値			
		実績値			
		単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 ストックマネジメント計画に基づき事業を推進し、持続的で適切な維持管理が実施できるように、国庫補助金の財源確保に努める。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 国庫補助金の財源確保に努め、ストックマネジメント計画に基づき、経年劣化により破損した管の改築工事を実施した。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 国庫補助金の財源確保に努め、管更生工事L=550m、布設替工事N=6箇所についての改築工事を実施し事業進捗が図れた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 計画指標である整備率について、48%から60%へと大幅に進捗することができ、施設の適切な維持管理に寄与した。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 持続的で適切な維持管理が実施できるように、ストックマネジメント計画に基づき事業を推進する必要がある。	次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続（拡大） <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 ストックマネジメント計画に基づき事業を推進するため、国庫補助金の財源確保に努めるとともに、施設の改築工事を実施する。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 施設の延命化が図れ、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、適切な維持管理に寄与する。	
	対応時期	令和4年度	

【1次評価者】	上下水道部 下水道課 下水道工務グループリーダー 曾我 信介
【最終評価者】	上下水道部 下水道課長 山内 光広

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B	A	A
	成果	B	B	B	A	A

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		60,000 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	60,000 千円
	令和4年度への繰越額	千円